

くすり一口メモ

睡眠薬の禁忌事項

睡眠薬には超短時間型、短時間型、中間型、長時間型があります。不眠の状態や症状によって薬剤を選択しますが、患者の疾患によっては使用してはならない薬剤が存在します。

今回は、使用頻度の高い睡眠薬の禁忌項目についてまとめてみました。全ての睡眠薬に一致している原則的禁忌項目には「肺性心、肺気腫、気管支喘息及び脳血管障害の急性期等で呼吸機能が高度に低下している患者」があり、禁忌項目には「重症筋無力症の患者」があります。

ハルシオンとユーロジンの併用禁忌薬剤の理由は、併用薬剤との代謝酵素が同じCYP3A4を競合的に阻害するためです。難溶性薬物であるドラールは、食物と一緒に服用することで胃内容物の残留により吸収性が向上し、血漿中濃度が空腹時の2～3倍に高まるため食物摂取後の服用は禁忌となっています。緑内障と重症筋無力症に禁忌の理由は抗コリン作用によるものですが、抗コリン作用で排尿困難を起こしやすい前立腺肥大の患者に対しては禁忌とはいえませんが注意が必要です。

は禁忌項目

睡眠薬		禁 忌	重症筋無力症	急性狭隅角緑内障	そ の 他
ベンゾジアゼピン系睡眠薬	超短時間型	ハルシオン			ジフルカン・イトリゾール・ノーピア・ストックリン（作用増強）
	短時間型	レンドルミン			
		ロラメット, エバミール			
		リスミー			
	中間型	ロヒプノール, サイレース			
		エリミン			
		ユーロジン			ノーピア（作用増強）
		ベンザリン, ネルボン			
	長時間型	ダルメート, ベノジール			
		ソメリン			
中・長期型	ドラール			急性閉塞隅角緑内障, 食物（作用増強）	
非ベンゾジアゼピン系睡眠薬	超短時間型	アモバン			
		マイスリー			重篤な肝障害

参考資料：治療薬マニュアル2005，各社添付文書
（鹿児島市医師会病院薬剤部 高橋 武士）